

# Classic

# DocAve Backup

リリースノート



2018年5月リリース版

## 新機能と強化点

- 最小単位バックアップ & リストアで、**コンテナの作成** ウィンドウ内の **サイト コレクションをごみ箱から完全に削除してから続行する** チェックボックスを選択すると、リストア先に新規作成されるサイト コレクションがリストア先ごみ箱内のサイト コレクションと競合する場合に、リストア先ごみ箱から競合のサイト コレクションを削除することが可能になりました。
- AvePoint Online Services によってスキャンされ、以下の 2 件のコンテナに同期された Microsoft Teams データを保護することが可能になりました。
  - 既定の Office 365 グループ メールボックス コンテナ
  - 既定の Office 365 グループ チーム サイト コンテナ
- アカウント プールを使用してバックアップを実行する場合の権限要件が強化されました。

## 既知の問題

- Classic DocAve Backup 画面で **コンテナの作成** 機能を使用してサイト コレクションを作成する場合、SharePoint Online 環境への接続にカスタム Azure アプリケーションを含むアプリ プロファイルを使用することはできません。
- **ディスカッション掲示板** リスト内の **メッセージ** データの一部のプロパティに、バックアップおよびデータ リストアができないものが存在します。
- **ディスカッション掲示板** リスト内のディスカッションの添付ファイル、ディスカッション本文にアップロードされたファイル、メッセージをバックアップ・リストアすることはできません。
- **最小単位バックアップ & リストア** で **グループ マネージャー、投稿者、サイト コレクション アクセス** メタデータをバックアップすることはできません。
- **最小単位バックアップ & リストア** で、サイト コレクションに存在する SharePoint Online アプリもしくは AppData のバックアップ データを、別のテナント グループに所属するサイト コレクションへリストアすることはできません。
- SFTP ストレージ タイプの物理デバイスを構成し、SFTP サーバーが freeSSHd である場合、パスワードおよびプライベート キー ファイル (.ppk file) の両方を同時にテストすると、テスト結果は失敗となります。

**原因:** SFTP では、.openssh 形式のプライベート キー ファイルのみに対応しており、PuttyGen によって生成された .ppk 形式のプライベート キー ファイルには対応していません。

**対応法:** プライベート キー ファイルの形式が .ppk である場合、PuttyGen を使用して .openssh ファイルに変換します。

- 使用中にネットワーク中断が発生した場合、**ジョブを開始しました** または他の操作インジケーターが通知ペインに正常に表示されない可能性があります。通知の表示に失敗しても、ジョブは正常に開始されており、ジョブ モニターで追跡されている可能性があります。操作の再開または新しいレポートのエクスポートを実行する前にジョブ モニターを確認することが推奨されます。
- [workflow;open a] というテキストが含まれる名前でプランおよびプロファイルを作成すると、保存時にエラー メッセージが表示されます。これは、[workflow;open a] が Windows ファイアウォールのルールの起動に使用されるコマンドであるため発生します。
- Classic DocAve Backup で、サイト コレクション管理者またはそれ以上の権限を持つユーザーのみが SharePoint Online サイト コレクションの登録を行うことができます。
- **最小単位バックアップ & リストア** で、**ディスカッション掲示板** 内のアイテムの **承認状態** のリストアには対応していません。
- SharePoint Online クライアントの API 制限により、**このビューのリスト ビュー Web パーツに表示するアイテム数:** および **モバイル リストの簡易ビューに表示するフィールド:** のプロパティ情報を取得することはできません。
- フィルター ポリシーを正しく構成しジョブを正常に実行させるには、フィルター ポリシーの構成時、**値 列** にはパーセンテージではなく小数点の表示形式で入力する必要があります。
- SharePoint API の制限により、サイトの言語設定に対するバックアップおよびリストアには対応していません。**SharePoint API** の **SharePoint.Client.Web** は AlternateUICultures 属性を保持していません。例えば、移動元チーム サイトの言語設定を構成し、コンテンツ マネージャーを使用して移動元サイトを移行先サイトへ添付します。コンテナ レベルの競合解決では **マージ** を選択し、コンテンツ レベルの競合解決では **上書きする** を選択した場合、移動元言語設定は移動先へコピーされません。
- 監査設定のリストアには対応していません。移動元サイト コレクション内の監査設定に対するバックアップおよびリストアには対応していません。クライアント API の制限により、**Audit**、**TrimAuditLog**、**Site.AuditLogTrimmingRetention** の **Microsoft.SharePoint.Client.Site** 属性はリストア中に取得できません。

**通知:** 本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

**著作権:** Copyright© 2018 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

**商標登録:** AvePoint<sup>®</sup>、DocAve<sup>®</sup>、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

**変更:** 本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

V: 05242018\_JP\_01

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階